

## 郡山市と東京藝術大学の連携事業

### 日本画制作ワークショップ

～自分だけのオリジナル風神・雷神を描いてみよう！～ を開催しました！

#### ワークショップの様子

|     |   |
|-----|---|
| 事業  | 日本画制作ワークショップ<br>～自分だけのオリジナル風神・雷神を描いてみよう～  |
| 開催日 | 令和8年3月8日(日)   |
| 場所  | 郡山女子大学附属高等学校 美術室  |
| 受講生 | 中学生5名、高校生13名  |
| 講師  | ○東京藝術大学美術教育研究室<br>・ 教授 渡邊 五大 様<br>・ 准教授 伊藤 将和 様<br>・ 助教授 笹野井 もも 様<br>・ 教育研究助手 伊藤 寛人 様<br>・ 教育研究助手 男澤 果林 様<br>・ 修士前期課程 篠崎 遥香 様<br>・ 修士前期課程 柴田 真実 様<br>○海老根伝統手漉和紙保存会様 |
| 内容  | 1. 講義(日本画、画材、海老根和紙について)<br>2. 地塗り<br>3. 絵具作り(岩絵具と膠、胡粉)<br>4. 着彩、たらし込み<br>5. 作品鑑賞・振り返り   |



【代表講師】  
日本画家 伊藤 寛人様

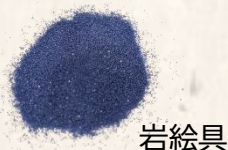
#### 日本画の特徴

日本画では、岩を粉状に砕き、膠を接着剤として混ぜ込んでつくる岩絵具を使用するのが大きな特徴です。

岩の種類、粒のサイズ、塗り重ねる回数などで全く異なる色味となるため、豊かな色彩となります。洋画とは異なるマットな質感もお楽しみください。



岩絵具の原料となる岩石



岩絵具



膠

#### 海老根伝統手漉和紙

今回のワークショップでは、郡山市伝統工芸品である海老根伝統手漉和紙を使用しました。

海老根伝統手漉和紙は郡山市中田町海老根地区で江戸時代から受け継がれた製法で作られる和紙です。通常の和紙と異なり、黄色みがかかったところから、時間が経つにつれ、白くなっていく特徴から「生きた紙(生紙)」と呼ばれています。

今回のワークショップでは、講師の先生方が実際に手漉きして作った和紙を使用しています。



海老根伝統手漉和紙

# ワークショップの写真



講義の様子



海老根和紙についての説明



原寸大の風神・雷神図を眺める様子



岩絵具と膠を混ぜている様子



着採の様子



作品鑑賞・振り返り